

令和3年2月26日	
資料提供	
担当課	経営支援課
担当者	波多、山崎
直通	073-441-2883

令和2年度（第30回）和歌山県農業教育賞 知事賞伝達式

1 知事賞伝達式

最優秀賞	日時	令和3年3月3日（水）8:25～8:40
	場所	広川町立津木 <small>つぎ</small> 小学校
	伝達	北浦 豊明（有田振興局農林水産振興部長） 小川 純生（県農業協同組合中央会常務理事）
	講評	小林 民憲（和歌山大学教育学部名誉教授）
優秀賞・奨励賞		各学校において実施

2 和歌山県農業教育賞とは

和歌山県農業教育賞は、県内各地の小・中学校等の児童・生徒が農産物の栽培活動から調理実習や学校給食への活用など、農業の実習体験を通じて自然や生命の大切さを育む食育活動（食農教育）を実践している小・中学校等を募集・表彰する。

3 審査結果

賞	受賞校
最優秀賞 （知事賞）	広川町立津木小学校（校長 大谷 真喜子） 中学年はトマトがさけてしまう理由について、高学年は害虫ウンカについてそれぞれ探求学習を行い、学んだことを自分たちの栽培活動に役立てている。また、児童会役員と連携してプロジェクトチームを立ち上げ、コロナ禍ではどのような収穫祭が行えるか何度も話し合い、自分たち手作りの収穫祭を実行した。低学年はスイートポテト作り、中学年は無人販売にも取り組んだ。
優秀賞 （教育委員会教育長賞）	和歌山市立雑賀小学校（校長 市川 圭造） 5年1組は、里山の環境づくりを目指して、新たな畑・田んぼを開墾し、そこで野菜や米などを栽培した。また、この活動の持続性を考え、多くの専門家の協力を得ながら、有機肥料も作っている。
奨励賞	日高川町立笠松小学校（校長 楠本 勝洋） 全児童11人でサツマイモを栽培。児童のみで焼き芋大会を実施し、下ごしらえから炭火までほとんど教師の補助なしで一から作ることを体験した。

4 主催・共催等

主催	和歌山県、和歌山県農業協同組合中央会
共催	和歌山県教育委員会
後援	朝日新聞和歌山総局、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局、 産経新聞社、NHK和歌山放送局、テレビ和歌山、和歌山放送、 JAグループ和歌山

詳細に関するお問い合わせ先：和歌山県農業教育賞事務局

和歌山県農業協同組合中央会総合企画部 TEL073-488-5515